

2012年5月25日

福井県知事 西川一誠殿

全日本教職員組合
中央執行委員長 北村佳久

「大飯原発3・4号機の再稼働は認めない」という ご決断をお願いします。

貴職が、住民本位の県政実現にむけて日頃よりご尽力されていることに敬意を表します。昨年3月11日以来、私たちは、教職員組合として被災地に心を寄せ、復興支援活動に取り組んでまいりました。被災地は、一年たった今も課題が山積しています。とりわけ、原発事故と放射能により特別の苦しみを負わされている福島の子どもたちに、安全安心な日々をとりもどす課題は大きな困難を抱えています。いったん事故が起きれば取り返しのつかない被害が広がる原発事故の異質さを、今も実感しながら、私たちは日々を過ごしています。

ところが、3月以降、政府は関西電力大飯原発3、4号機の再稼働に向けた動きを強めています。しかし、様々な問題が解決されずに残っています。

第一に、東京電力福島第一原発事故はいまだ収束していません。そして、事故の原因すら解明されていません。

第二に、福島第一原発事故をふまえた安全基準が策定されていません。そのもとでのストレステストの結果をそのまま認めることはできません。

第三に、大飯原発周辺の海域と陸域の活断層が連動した場合など、過酷事故の際の放射能被害の影響範囲等の検討がなされていません。滋賀県や京都府など近隣の住民の避難経路も確定されていません。

第四に、電力需給量の算定結果について信頼性が十分とは言えません。また、原発によらない電力供給体制について、十分に検討がなされていません。

第五に、独立した原子力規制機関がいまだに確立されていません。

以上の課題が未解決のまま、大飯原発の再稼働が行われることがあってはなりません。近隣の自治体からも「再稼働反対」の声があがっているなか、貴職には慎重なご判断をお願いします。

福井県の子どもたち、そして日本じゅうの子どもたちのために、「再稼働は認めない」というご英断をよろしくお願いします。

以上